

リハビリ支援報告

今年度より、定期的にピース八田西さんにリハビリ支援(理学療法士)で訪問させていただいております。

とある日の支援内容です↓

- ①利用者の車いすでの姿勢調整
- ②ポジショニング
- ③職員で実施可能なリハビリの指導

訪問時に職員の方に困りごとを伺い、それに合わせた支援を実施しています。



9月21日 社会福祉法人コスモスさんの摂食嚥下研修(言語聴覚士)を行いました。ベルデからZoomで配信し、4会場で視聴していただく講義形態で実施しました。

- ①一般的な嚥下の仕組み、誤嚥の仕組み
- ②口腔機能の発達について、適した食形態について
- ③窒息時の対応について
- ④質疑応答

の内容で、実践を交えつつ1時間半の講習となりました。

初めてのZoom配信による摂食嚥下研修で、こちらも良い経験になりました。1月には現地での支援も予定しています。

12月1日に、ショートステイえるとさんに介護レクチャー(作業療法士)で訪問させていただきました。

利用者の方に安心・安全な介助ができるよう職員が負担のかからない基本的な介助方法を学ぶ目的で、ボディメカニクスのレクチャーや具体的な介助場面のレクチャーを行いました。

- ①介護を行う上で知っておきたいボディメカニクス
- ②座位姿勢の基本を理解する
- ③ご利用者の介助方法について
- ④重症者の加齢について、介助者が知っておくべきこと

その他、移乗の介助が不安定な入所者様の移乗場面の動画を拝見させていただき、より安全な介助方法を検討し、共有しました。



障害者フェスタのご報告

12月4日13時～15時

健康福祉プラザの障害者フェスティバルの関連イベントとして、大研修室において「視線入力装置で遊ぼう！」を開催しました。

地域にお住いの障害者の方、支援者の方、お子さまにお越しいただき、

視線入力のカメラを取り付けたノートパソコンで、射的や塗り絵などのゲームを体験して楽しんでいただきました。

また、同じ会場ではベルデさかいの入所者の皆様に作っていただいた消臭剤を販売しました。

入所者の皆様にも、感染対策をして売り子としてご参加いただき、完売しました。社会参加の第一歩です。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

職員派遣
お気軽にお問い合わせください！

薬剤師
看護師
など

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士



■婦人科からの耳より情報■

第七話「ピルの連続内服について」

低用量ピルは、生理痛、または生理の量が多く貧血になる場合や、生理前にイライラしたり、大きな声が出てしまったりする月経前症候群の治療として用いられます。障害のある方で、訴えることが苦手な方に対しては、介護をする側が積極的に生理痛や月経前症候群を疑い、対処する必要があります。

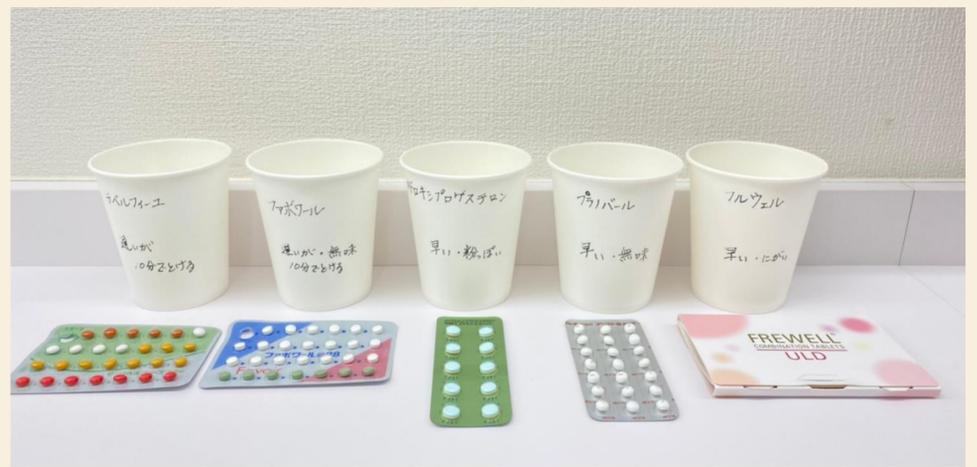
その低用量ピルについてですが、以前は月に1回生理を起こしていましたが、ピルを飲み続けることによって3～4ヶ月間、生理を起こさない方法があります。

低用量ピルだけでも症状が改善するのですが、毎月生理を起こさず連続して飲むと更に生理痛、頭痛や気分変動をほとんど認めなくなります。

連続投与では、予期せず出血することがありますが、3～6ヶ月過ぎると予期せぬ出血も徐々に落ち着いてきます。

また、予定外の出血は4日間休薬することによってコントロールできます。よくやってしまう休薬期間中の飲み忘れが少ないというメリットもあります。

ピルが飲みにくい方、または経管栄養の方のために当院で扱っているピルが簡易懸濁法(55℃位のお湯で10分くらいで溶かす)でどの程度溶けるか、また飲んだときの味覚を試行してみました。



薬品名	とける時間	味
フリウェルULD	5分	少し苦い
プラノバール	1分	無味
メドロキシプロゲステロン	0.5分	粉っぽい
ラベルフィーユ	10分	無味
ファボワール	10分	無味

溶けるまでの時間に差はありますが、全ての薬剤は、簡易懸濁で溶解することがわかりました。ピルが、いろいろな方法で飲んでいただいただけそうでした。

はしもとクリニック 院長
前 ベルデさかい 診療部長 橋本 洋之 医師



■知っておきたい薬の話■

その六「市販薬について」

「薬には病院で処方される薬と、ドラッグストアで購入できるものがあります。今回は市販薬の分類・販売方法についてご紹介します。市販の医薬品は副作用の程度によって3つに分けられています。

第一類医薬品

副作用や飲み合わせなど注意が必要な医薬品であるため、購入時に薬剤師からの対面および書面での説明が必要です。病院で処方される薬の中でも比較的安全性の高いものについてはスイッチOTCと呼ばれ市販化されたものがありますが、多くは第一類医薬品に分類されています。

第二類医薬品

現在市販されている薬の大半が第二類医薬品に分類されます。薬剤師、もしくは登録販売者からの購入が可能です。

第三類医薬品

第一類・第二類と比べて比較的风险が少ないもので、ビタミン剤などが含まれることが多いです。薬剤師・登録販売者の指導のもとであれば一般の販売者でも販売が可能です。

ドラッグストアによっては薬剤師や登録販売者のいる時間が決まっていることもあるため購入前に確認しておくといでしょう。

ベルデさかい 薬剤師 河村 久美子

■リハビリだより■

その一「視線入力装置のご紹介」

視線入力装置とはパソコンを視線で操作する道具です。視線を専用機器で捉え、カーソル操作や注視をすることでクリック操作などが行えます。以前は高価な装置でしたがマイクロ社のエックスボックスのゲーム機器が利用でき、入門機は安価で入手が可能になりました。〈商品名:Tobiiアイトラッカー5:アマゾンで入手可能〉。ノートパソコンに接続して使います。

島根大学総合理工学研究科 伊藤史人氏を筆頭にアプリケーションの開発が進んでおり、ゲームができたりメールが打てたり、動画を見たりと生活するうえで便利になるソフトの開発が進んでいます。以下のHPから各種ソフトが

無料でダウンロードできます。〈ポランの広場 | 福祉情報工学と市民活動:https://www.poran.net/ito/〉

ノートパソコンの高さ、傾きを調整し視線を合わせるためにスタンドが必要になります。ベルデさかいではmiyasukuスタンドを使っています。〈株式会社ユニコーン:https://www.e-unicorn.co.jp/stand〉

ゲームでは視線の軌道や範囲が分かりやすく表示されます。また、ご利用者の得意な視線の動きの傾向がわかるので、見やすい位置から話しかけたり、物を提示する等、より理解して頂きやすい関わり方をみつけることもあります。今後、日常生活や遊びに取り入れて、更に身近に使用できるよう、私たちも学んでいきます。

ベルデさかい 作業療法士 井上良輝

地域支援センター 事業実績と予告

堺ミーティング

	日時	テーマ
第1回	平成27年 7月20日	施設紹介:「ベルデさかいの役割とこれから」 児玉センター長、ベルデ各部署
第2回	9月11日	講義(岸本PT):いのちの入れ物「からだ」への支援
第3回	11月27日	講義(松本OT):豊かな暮らしの活動支援
第4回	平成28年 1月8日	講義(松浦ST):楽しい食事時間の支援
第5回	3月11日	講義(石崎Ns):いのちを紡ぐ医療的ケアの支援
第6回	5月13日	施設・事業紹介 大阪南リハビリ訪問看護ステーション、障友会グループホーム「あいあい」
第7回	7月8日	施設・事業紹介 アシストデイ・アシストナイト(ナイトケア)、エーユーハウス
第8回	9月9日	施設・事業紹介 ピュアあすなろ、大阪府立堺支援学校
第9回	11月11日	施設・事業紹介 堺市基幹相談支援センター、堺市障害者更生相談所
第10回	平成29年 1月13日	講演 橋本 洋之 医師 (堺市立重症心身障害者(児)支援センターベルデさかい 診療部長) 「障害女性のライフステージと健康」
第11回	3月10日	施設・事業紹介 じょぶライフだいせん、平成29年度の堺ミーティング計画報告
第12回	5月12日	講演:位田 忍 医師 (大阪母子医療センター副院長・患者支援センター長) 「在宅医療の地域ケアシステム構築での3次病院及び専門医療の役割」
第13回	9月27日	講演:南條 浩輝 医師 (かがやきクリニック院長) 「ちょっとだけがんばればできる小児在宅医療」
第14回	11月17日	講演:長井 美樹 医師 (堺市総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長) 「重症心身障害児者や長期臥床患者に適した新たな誤嚥防止術のご紹介」 紹介:堺市総合医療センター (医療連携室 柳川 富久美 看護師長)「医療・福祉・介護連携」
第15回	平成30年 1月12日	講演:藤井 健一 医師 (耳原総合病院小児科) 「重症心身障害児者とその家族に教えられた事 これまでの経験とこれからの展望」
第16回	3月9日	講演:伊藤 隆夫 PT (全国訪問リハビリテーション協会相談役・前会長) 「地域包括ケアと在宅リハビリテーションーこれからの地域に求められるリハ職の役割を考えるー」
第17回	9月14日	テーマ:「自立支援について考える-重心自立生活者当事者報告会-」 ※知的に高い重度障害者の自立生活実現への当事者報告会 当事者2名参加
第18回	平成31年 3月1日	テーマ:「自立支援について考える②」 堺区障害者基幹相談支援センター 菊池様からの事例紹介とディスカッション
第19回	令和元年6月20日	講演:竹本 潔 医師 (大阪発達総合療育センター 副院長 小児科) 「大規模災害時の医療的ケアが必要な方々への対応と対策」
第20回	10月24日	講演:森 繁樹 氏 (ベルデさかい 事務次長) 「個別支援計画と福祉制度入門」
第21回	令和2年8月28日	情報交換会:新型コロナウイルスによる様々な影響とこれからの対策について ①新型コロナウイルス感染症対策 ②事業所、施設の運営や管理 ③利用者、保護者の心身の健康や生活
第22回	11月4日	講演:橋本 洋之 医師(はしもとクリニック 院長、前 ベルデさかい 診療部長) 「障害者の答えのない選択 あなたならどうする？」
第23回	令和3年7月28日	講演:鎌田 諭 氏 (日本相続知財センターなにわ支部・京都支部 理事 税理士・司法書士) 「専門用語を使わない障がいのある子の親なき後のお金の話」
第24回	令和3年12月15日	講演:山下 美由紀 氏 (一般社団法人輝39 代表理事) 中田 義弘 氏 (同 理事) 「看護付きグループホームとは？」
第25回	令和4年8月10日	講演:上之蘭 康氏 (社会福祉法人コスモス 中南エリア長・ふれあいの里かたくら施設長) 中村 智明氏 (社会福祉法人コスモス ふれあいの里かたくら施設長代行) 「よりよい地域支援体制の構築をめざして」
第26回	令和5年3月2日 (予定)	講演:関谷 真一郎 医師 (クレヨンキッズクリニック 院長、元ベルデさかい 診療部長) 詳細が決まり次第メールやホームページでお知らせいたします



「障害者週間」フェスティバル

第1回	平成28年12月3日	第2回	平成30年3月11日	第3回	平成30年12月1日
第4回	令和元年11月30日	第5回	令和2年11月28日(中止)	第6回	令和3年11月 (不参加)
第7回	令和4年12月4日				

器具作成講習会(ベルデ製作所)

今までに作成した器具の作り方などは、ベルデさかいのホームページに掲載していますので、ご覧ください

第1回	平成28年10月16日	第2回	平成30年1月28日	第3回	平成31年3月16日
第4回	検討中				



介護講習会(ゆびきたす倶楽部)

第1回	平成28年6月19日	第2回	平成29年8月20日	第3回	平成30年6月10日
第4回	検討中				

症例検討会(くおりあ倶楽部)

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ホームページやメールなどでご案内します。

健康体操教室

新型コロナウイルス感染症の影響で延期しています。再開が決まり次第、ご案内します。



ベルデ地域支援センターの派遣事業について

- 地域の生活介護事業所での医療や介護、お薬、リハビリなどに関するご相談や指導
- 職員研修などの講義や実技指導
- 職員の腰痛予防などの体操指導
- その他

電話・FAX、ホームページ、メールなどで、どうぞお気軽にご連絡・ご相談ください。
ご依頼・ご相談をいただきましたら、日程のご相談をしてなるべく早期に対応します。



ベルデさかいの
ホームページは
こちら



お問い合わせ・ご連絡先

堺市立重症心身障害者(児)支援センター内
ベルデ地域支援センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1
堺市立健康福祉プラザ2階

電話 072-275-8510 FAX 072-243-5900

担当者 渡辺 美咲(わたなべ みさき)
小澤 明人(おざわ あきと)

メール: verdesakai.chiikishien@misasakai.or.jp

